

## 第1回公立北部医療センター整備協議会（幹事同席） 議事概要

日時 令和2年9月3日（木）15:00-16:00（公開）

場所 北部会館3階会議室

### 参加者

**協議会委員** 沖縄県 謝花副知事、県病院事業局 我那覇事業局長  
名護市 渡具知市長、国頭村 知花村長、大宜味村 宮城村長、  
東村 當山村長、今帰仁村 久田村長、本部町 平良町長、  
恩納村 長浜村長、宜野座村 當眞村長、金武町 仲間町長、  
伊江村 島袋村長、伊平屋村 伊礼村長、伊是名村 前田村長、  
北部地区医師会 上地会長、琉球大学病院 大屋病院長

**幹事会幹事** 沖縄県保健医療部 大城部長、県病院事業局 大城統括監  
県立北部病院 久貝院長、  
名護市 金城副市長、国頭村 山城総務課長、大宜味村 島袋副村長、  
東村 仲嶺福祉保健課長、今帰仁村 宮里福祉健康課長、  
本部町 伊野波副町長、恩納村 外間副村長、宜野座村 山城副村長、  
金武町 池原副町長、伊江村 名城副村長、伊平屋村 上江洲住民課長、  
伊是名村 諸見住民福祉課長  
北部地区医師会 宮里副会長、北部地区医師会病院 諸喜田院長  
琉球大学病院 平田副病院長

**事務局** 沖縄県保健医療部医療政策課 宮城課長、川満班長、城間、具志、野原

### 議事概要

#### 1 副知事挨拶

- (1) 県では、第7次沖縄県医療計画に基づき県民への医療提供体制を確保する取組を進めている。その中で「県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たな基幹病院を整備するための作業に取り組む」としてきた。
- (2) 北部基幹病院の整備については、平成29年に北部基幹病院整備推進会議から要望書が、また、本年3月以降、北部12市町村全ての議会から北部基幹病院の早期整備を求める意見書が寄せられるなど、皆様の期待は大きいものと承知。
- (3) 7月28日に北部基幹病院の基幹的枠組みに関する基本合意が成立し、公立北部医療センターの整備に向けた協議を開催できる運びとなった。
- (4) 本日は、北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書に示す項目の協議の進め方、基本構想の骨子、そして今年度のスケジュールについて議論したい。

- (5) 沖縄県では、公立北部医療センターの早期整備に向けた取り組みを強力に推進し、基本構想の策定などに取り組んでいく。引き続き、北部 12 市町村及び関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いする。

## 2 議題 1 基本的枠組みに関する合意書で定める協議事項の説明

### (1) 事務局から、以下の内容について資料で説明【参考資料、資料 1 (1 頁)】

- ア 協議会及び幹事会、それぞれの構成員、協議事項、役割等の説明
- イ 基本的枠組みに関する合意書で定められている協議事項
- ウ イで示した協議事項に掛かる検討・協議の進め方

### (2) 質疑等での発言

特になし

## 3 議題 2 基本構想骨子案の説明

### (1) 事務局から、以下の内容について資料で説明【資料 1 (2～7 頁)】

- ア 基本構想の位置づけ及び構想の構成 (1 章から 5 章)
- イ 基本構想の骨子 (各章に盛り込む要点)

### (2) 質疑等での発言

#### ア 本部町 平良町長

最短スケジュール 6 年間で整備するためにはスピード感が大切。膨大な協議事項があり膨大な仕事になると思うため、「公立北部医療センター整備室」を創り、専従職員を置いて進めてほしい。

#### (回答) 医療政策課 宮城課長

ご提案のあった組織の増強については、検討していきたい。

#### (回答) 謝花副知事

県政の重要課題として取り組んでいただきたいとのご指摘はしっかり受け止める。組織の拡充については、進捗状況に応じて検討していきたい。

## 4 議題 3 今年度スケジュールについて

### (1) 事務局から、以下の内容について資料で説明【資料 1 (8 頁)】

- ア 今後、県から基本構想 (たたき台) を示し各構成団体へ意見照会
- イ 医療機能部分については部会を設置し検討
- ウ 12 月 (予定)、アとイを踏まえ取りまとめた基本構想 (素案) を第 2 回幹事会に諮る
- エ 1 月 (予定)、基本構想 (素案) のパブリックコメントを実施
- オ 2 月 (予定)、パブリックコメントの結果を踏まえた基本構想 (案) を第 3 回幹事会で調整・確認

カ 3月（予定）、第2回協議会を開催し、基本構想の決定及び今年度協議事項の進捗状況等を確認

(2) 質疑等での発言

ア 北部地区医師会 宮里達也副会長

北部の医療提供体制は、新型コロナウイルスの対応でもわかるように、ちょっとしたことでも医療崩壊につながりかねない。スピード感をもってしっかりと良い病院を造ってほしい。

5 意見交換

(1) 名護市 渡具知市長

予定通り進めていくうえで、組織の強化は是非お願いしたい。  
いろいろな情報が先に出てしまわないよう、情報の管理はしっかりしてほしい。

(2) 国頭村 知花村長

現在、北部病院と北部地区医師会病院が持っている病床数について聞きたい。

(回答) 病院事業局 大城統括監

許可病床は、県立北部病院 327 床、北部地区医師会病院 236 床。合計 563 床。  
稼働病床は、県立北部病院 257 床なので 236 床と合わせて 493 床。

(回答) 医療政策課 宮城課長

病床数は事務局でも再確認する。情報管理についてもしっかりやっていく。

(3) 大宜味村 宮城村長

協議会は本日と3月ということになっている。議論の進捗状況について、幹事会での説明は、市町村長にもわかりやすいよう説明してほしい。

(4) 東村 當山村長

病院建設費用は借入になると思うが、各自治体の負担がどうなるのか示してほしい。経営は黒字になるということやってきて、整備が必要ということも確認しているが、我々の負担割合がどうなるのか、シミュレーションしてほしい。

(5) 今帰仁村 久田村長

情報漏洩の件が気になるので情報管理をしっかりしてほしい。

(6) 本部町 平良町長

できるだけ地元の議会とも情報共有しながら、意思決定を早いスピードでやっていこうと思っている。

必要であればいつでも迅速に協議会を開催し、意思決定して推進することが必要。県においても、知事の意思決定が必要な部分について情報の風通しをしっかりやって、意思決定のスピード感を早めることが重要。

(7) 恩納村長 長浜村長

開院までに6年にかかるということで、スピード感をもって進めてほしい。

一番の課題は医師不足。統合までの間、医師不足が解消できるよう進めてほしい。

**(8) 宜野座村 當眞村長**

500 床弱が稼働しているということだが、新病院の計画では 450 床としており、病床数が減少する。北部から 2 割の患者が圏域外へ流出していると聞いているが、この病床数が適切なのか医療関係者の意見も聞きたい。

「企業債の元利償還金の軽減を図る」ことについては、国との関わりが大きく影響してくると思われる。我々も含めて一緒に国へ情報交換しながらスムーズに整備ができるよう連携していきたい。

最短でも 6 年ということだが、その間、北部の医療体制が落ち込んでいかないよう、現状の医療体制を強化しながら新しいセンターに移行できるようにしてほしい。

**(9) 金武町 仲間町長**

スケジュール通り進めるのであれば、職員が他業務を兼業しては駄目だと思う。県で人事配置を含め専属職員で進めていくべきだと思う。

**(10) 伊江村 島袋村長**

スピード感をもって早めに進めてほしいという思いは皆と同じである。

医師確保の手段について、幹事会で副村長から提案するので協議いただきたい。

合意書の第 15 条、診療所の取り扱いが大きな関心事である。現状の離島診療所の立場から要望し、良い枠組みができるよう提案していきたい。

**(11) 伊平屋村 伊礼村長**

県と北部市町村会、そして北部医師会等の情報をもっと速やかに開示し、コミュニケーションが取れるようにしてほしい。

事業が 6 年と長期にわたるため、作業が後戻りしないような進め方をしてほしい。

**(12) 伊是名村長 前田村長**

本日、第 1 回整備協議会が開催されたことは大きな一歩だと思う。2026 年の供用開始を目指して取り組んで、実現させてほしい。

**(13) 琉球大学病院 大屋病院長**

市町村長皆様の期待に沿えるよう、人材確保等、頑張っていきたい。そのため、ぜひ皆様にご理解、ご協力並びにご意見をいただきたい。

現在、日本全体が医師不足な中、我々、沖縄は医師確保について頑張ってきている。我々が考える持続的な素晴らしい公立北部医療センターができるためにも、医師や医療従事者が是非ここで働きたいと思うような、素晴らしい構想を共に考え一緒に作っていききたい。

**(14) 北部地区医師会 上地会長**

この数年間、北部 12 市町村と県といろいろと議論し、合意書を作るのに大変苦勞したと思う。これに則ってブレないようにやっていけばいいのではないかと。

新しい医師確保等の事業についても、琉球大学病院長から話があったとおり、積

極的に情報開示し、良い病院を造っていくことが大事だと思っている。

**(15) 県病院事業局 我那覇局長**

新病院開院までの数年、北部病院がしっかりとした医療を提供することが、公立北部医療センターへスムーズに移行するために必要。今後も医師確保に努めていく。

幹事会で各論や詳細の議論が出ると思うが、大屋院長が話したとおり、医師、医療従事者の確保が相当大変な作業になる。特に、現在も不足している小児科、産婦人科、脳外科、泌尿器科等は、統合したらすぐに医師が増えるものではないと思う。この辺をどのように調整するかが大切な問題。

幹事会で議論した内容を逐一各首長には報告し、これでよいかをフィードバックしながら進めるのがスムーズに行くのではないかな。

**(16) 沖縄県 謝花副知事**

本日は、幹事の皆様に参加いただいている。皆様も、いまの議論をしっかり心にとめ充実した議論をいただきたい。

後戻り感がないよう、途中で確認することが必要と感じている。年内又は年明けにお集まりいただき（協議会で）確認するということがよいか。絶対後戻りしないという強い思いで進めさせていただきたい。

＜委員全員の賛同＞

その方向（年内又は年明けに協議会を開催）で進めていきたい。

協議会、幹事会を充実したものにして、6年でしっかり整備できるよう全力で取り組んでいきたい。

以上